

愛鷹小中一貫教育目標(15歳の姿)
志を持ち たくましく生きる人

◆ふじのくに「有徳の人」づくり ◆誇り高い沼津を創造する 貴き志を持つ人づくり

中3
中2
中1

自らの力を精一杯発揮し、目標に挑戦して達成する喜びを味わい、社会で活躍する志を育む。

【小中共通課題】
・人間関係調整力
・基本的学習習慣
・家庭学習習慣
・自己有用感
・学習意欲
・対話力

小6
小5
小4

人との関わりを通して、学ぶことの楽しさや、人のために役立つことの充実感を味わい、夢や希望を持てるようにする。 Dream♪

小3
小2
小1

自分でできたことや仲間とできたことへの満足感を味わい、自立への基礎を築く。

愛鷹中学校教育目標
夢に向かい 心豊かに 自ら学ぶ

愛鷹小学校教育目標
こころゆたかに みんなで伸びる

学校経営の基本方針

- (1) 子供の今を理解し、将来の自立に向けてどの子も支える。
- (2) 高い人権意識のもと、望ましい社会性の獲得を目指す。
- (3) 全員がめあてをもって参加し、認め合える授業を作る。
- (4) 目標の連鎖を意識した全校での取組を推進する。
- (5) 不祥事・体罰・暴言・セクハラ『0』の信頼のある学校をつくる。

目指す 愛鷹中生の姿

- (1) 自ら進んで気持ちのよいあいさつができ、明るく生活する人
- (2) 人の話をしっかり聴き、自分の思いや考えを素直に表現できる人
- (3) 相手を思いやる言動ができ、役立つ喜びを感じられる人
- (4) 自他の命を大切に、めあてに向かって忍耐強く取り組む人

あ かるく せいかつする人

し んけんに まなぶ人

た すけあい おもいやる人

か らだをきたえ まもる人



創立80周年

自ら学ぶ

学習・研修指導部

① 学びを充実させる

- 情報及びICT機器を適切かつ効果的に活用する 90% 1-3-(1)
- 対話を通して考えを広げたり深めたりしていく 80% 1-1-(1)

② 基礎基本を身につける

- 基礎学力の定着をはかろうとする (朝学習(AID'リル)の活用、質問タイム) 75% 1-1-(1)
- 課題を解決をしたいという思いをもつ 75% 1-3-(1)

③ 進んで読書をする

- 朝読書、鷹根タイムを活用して読書する 75% 1-1-(2)

生徒のたい(聴きたい、伝えたい、考えたい...)を引き出す授業づくり

特活指導部

心豊かに

① 魅力ある学級・学校を自分たちでつくる

- 生徒会活動や委員会活動・係活動などに進んで参加し、周囲と協力し、責任をもって果たす 90% 1-1-4(1)
- 仲間と伝え合い、話し合う活動を通して、仲間と合意形成を図ることができる (学級活動の活用) 80% 1-2-1(1)

学校経営目標

工夫と創造

～持続可能な教育計画～

○道徳教育の重点項目

- A-1 自主、自律、自由と責任
- B-6 思いやり、感謝

夢に向かい

② 自己実現をめざして邁進する

- 将来の夢や希望をもって生活している 80% 1-2-1(3)
- 夢やめあてに向かって、粘り強く頑張ることができる 80% 1-2-4(1)

人権感覚の涵養とユニバーサルデザインの視点を取り入れた生活づくり、授業づくり

自ら学ぶ

心豊かに

① 自己決定し、自己存在感を抱き、共感的な人間関係を築く

- (生徒指導の3機能の実践、人間関係づくりプログラムの活用)
- 自分で判断し、ルールやマナーを守ることができる 90% 1-2-1(1)
- 思いやりや感謝の心を大切に、自分の行動に責任をもって生活できる 90% 1-2-3

生徒・保体指導部

② 健康的で安全な生活をする

- 早寝・早起きの習慣がある 80% 1-2-2(5)
- 自分たちで生活空間を整える 80% 1-2-1(1)
- みんなで交通事故0を達成 1-2-2(2)
- 地域防災訓練への参加 80% 1-2-2(1)(3)

③ 望ましい食生活、安全な生活を送る

- 食事のマナーを守る 80% 1-3-2(1)
- 毎日、朝食を食べる習慣がある 85% 1-3-2(2)

☆いじめ・不登校への実効性ある予防と対応

チーム学校・コミュニティスクールの充実

- 支援員やSCを活用し、子供たちの集団適応を図る。 1-1-3(1)
- 総合的な学習の時間で、地域人材・人とのつながりを大切に、SDGsを意識した取組を行う。 1-2-4(1), 2-1-2(3)
- スクールサポートスタッフを活用し、生徒に向き合う時間を確保する。 1-1-3(1)

- 異学年交流や小中一貫教育の接続・児童生徒間交流を推進する。 1-2-4(1)
- 学校運営協議会、PTA、地域コミュニティとの協働を推進する。 2-1-2(3)
- 学校だより、HP、メール配信を活用して、タイムリーに発信する。 2-2-3(2)